

# 魂(こころ)をこめて

～ひとりひとりをみとめ合い、やる気を前へ～

草津市立老上中学校  
第2学年 学年通信  
No 10 11月2日  
発行者：岡 利喜彦

## 11月 秋深し！ 自分を深く考える時..

11月、4月から7ヶ月がたちました。後5ヶ月で3年生です。もう「2年生として」よりも「3年生として」の方が近くなりました。あれ？先月も同じことを書きましたか？でも、あえてもう1度書きます。秋の深まりと共に、みんなも2年生としてじっくり深まり、落ち着いて3年生へ向かえているでしょうか？・・先日、新しい生徒会長・副会長も決まり生徒会も2年生を中心とした組織に生まれ変わろうとしています。部活動では、つい先日新チーム初の公式戦、中体連秋季交流会が行われました。いろいろな意味で、もう老上中学校の中心になり始めているみんな。この時期だからこそ、今の自分とこれからの自分をしっかり考えてみる時かもしれません。毎日の生活・学習・部活動・友人(人間)関係・家族(家庭)のこと・・。そういうときがあつての成長であろうと思います。3年生は、いよいよ進路三者懇がスタートしました。これから数限りない相談をし、12月までには進路についてのある程度の方向性を決めていくのです。みんなも、もう1年後なのですね。思うに、懇談会では「自分をいかに語るか！」だと思います。それまで積み上げてきた(いる)成果(注勉強だけではありませんよ!)を基に、自分の夢や未来について先生や親と話し合っていくのです。だから、有意義な毎日が送られてきた人にとっては、三者懇は楽しいものかもしれません。逆にそうでない場合、頭を抱え込むだけかもしれませんね。要は「進路実現は積み上げ」だということを知ってほしいと思います。先日、ある人のノートにこんな言葉が書いてありました。『限界なら超えればいい。現実なら変えればいい。自分から行動しなければ何も変わりはない！』何かの歌の文句かも知れませんが、「うん、うん。」とうなずいていました。

自分を見つめ、精一杯・・・何よりの魅力です。

さて、前期最後の学級委員会で、今の学級や学年に対して思うことを考えてもらい、後期に引き継ぐことにしました。テーマは、『前期、学級・学年の振り返り～自分の心と相手の心・行動、態度の再点検～』前期学級委員のみんなは、2年生をより良くしようと、本当に真剣に考え、発表してくれていました。もったいないので、みんなにも紹介します。

明るく元気、素直でまじめに行動できる、2年生全体の良いところは大きく変わってはいません。ただ、ふと立ち止まってみると、気づいていながら、あるいは気づかないまま、あたりまえに「人の心を傷つけていることはありませんか？」心の乱れが直接あらわれる「毎日の生活態度が雑になっていませんか？」今、じっくり自分の言動について考え、しっかりと心を育て、成長を続ける2年生にしていきましょう。

### 【前期を振り返って・・・各学級委員の総括：12人の思いのまとめ】

#### ① 自分の学級(学年)の良いところは何ですか？

- 元気がたっぷり
- 気持ちの壁が少ない
- 意欲がある。
- 周囲と仲が良い
- 協力してやろうとする気持ちがあり、団結している
- 困っている人がいれば、気づいて助けられる人が多い
- メリハリがありやるときはやる
- 任せきりでなく自然に協力できる
- いろいろな人の意見を聞いてものごとを決められる
- 笑いが絶えず、笑顔がいっぱいあふれている
- あいさつができる
- いじめがない
- 行事にも真剣に取り組んでいる
- 誰かが失敗しても、それを責めずにはげますことができる
- なぞの？団結力がある
- みんな優しい・・・なので平和

#### ② 自分の学級(学年)の問題点は何ですか？

- あまり積極性がない
- ベル着がおそろかになっている人がいる
- 授業中さわがしい
- しゃべりすぎて周りが見えなくなることがある
- 悪口があること
- 大事な時もふざけることがある
- 先生が話している時にも近くの人と話していることがある
- 公共物(教室の扉など)で遊んでいる
- 終わりのチャイムが意識できない人がいる(早く終わったら出る人)
- あまりメリハリがつけられていない

#### ③ ②を解決するために？どんなことが必要でしょうか？

- はきはき元気に話そう！(こそこそ話×)
- 「考動」をする！
- 休み時間とのメリハリをつけて、場の空気を読んでいくこと
- 鼻見をもたず、周りを認めていくきもちをもつこと
- 「しっかりやろう。」等、みんなが集中できる声かけをみんながしていく
- ひとり一人が意識して、注意していくこと
- 悪のりをしないこと
- 他人に流されないこと
- 全体を見て行動すること

